

## 具体的目標の実施計画表

### 1 教える行動を決めましょう

チャイムが鳴ったら着席し、静かに待とう。

### 2 子どもたちに伝える「この行動を学ぶ理由」を考えましょう

- ・すぐに学習を始めることができるから。
- ・時間を守ることでメリハリのある生活ができるから。
- ・みんなそろって静かにできていると気持ちが落ち着くから。

### 3 指導の方法を考えましょう

「10分休みでの着席」

- ・チャイムが鳴り始めたら座る。(〇分以内→チャイムが鳴り終わるまで)
- ・〇分以内は学年の実態に応じて？
- ・座ったら、静かに待つ。(本や教科書を読んで待つ)

【教示】集会でお手本を示す。(ロールプレイ)

「10分休みの過ごし方」

- ・トイレと水分補給は先に済ませておく。
- ・次の時間の準備をしておく。

### 4 褒め方を考えましょう

「教室」

- ・座れている子を褒める。
- ・座れている人数を数えて、記録する→褒める。
- ・週ごとに記録を掲示する。(目標に達成→ポイントを貯まる→お楽しみ)

「集会」

- ・学年ごとに競って、表彰する。
- ・全校での成果を校長先生に褒めてもらう。

### 5 子どもたちの行動を記録する方法を決めましょう

- ・「チャレンジウィーク」を設けて、記録をとり、グラフ化する。
- ・担任が何人座れたかを表に記録する。
- ・毎回記録をとるのは負担になるので、日直や班長等の児童に記録をとってもらう。(低学年は難しいかも)
- ・自己評価(昨年度実施していた昼間っこチャレンジウィークを引き継ぐ)

